

新型コロナとインフルエンザが流行中

新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行しています。学校では、学級閉鎖が多数報告されています。5類以降、感染対策が緩和されてきている施設もあると思いますが、「持ち込ませない対策」を強化しましょう。

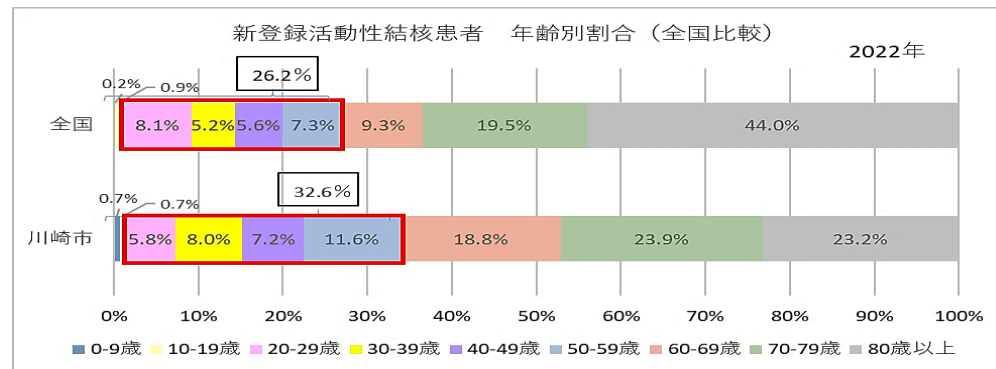
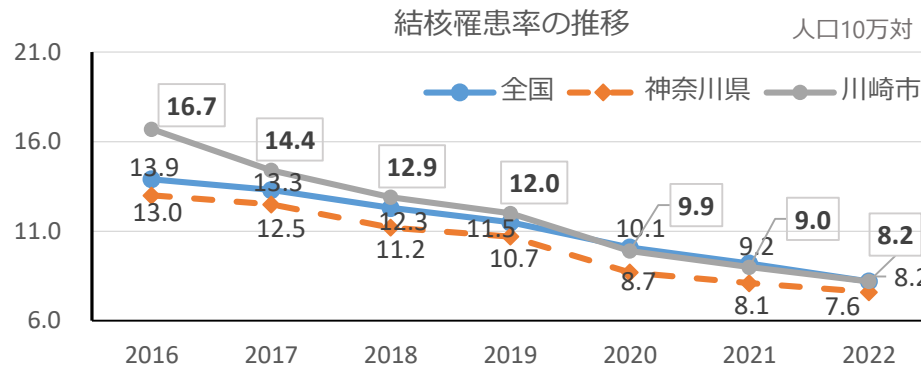
<日常のチェックリスト>

- 職員の健康管理
 - 体調不良時にも「休みにくい雰囲気」がないか？
 - 出勤時の健康確認ルールはあるか？
 - 勤務中の体調不良の報告や対応についてルールはあるか？
- 入居利用者の健康観察
 - 入居利用者の健康観察を行っているか？
 - 入居前の同居家族の体調を確認しているか？
- 外出・外泊の管理
 - 外出・外泊時の注意について説明しているか？
 - 外出・外泊前に、一緒に過ごす家族らの健康状態を確認しているか？
 - 外出・外泊から戻る際に、本人・家族ら接触者の健康状態を確認しているか？
- 面会者の管理
 - 面会者の健康状態を確認しているか？
 - 「マスクを外さない・ずらさないこと」を面会者に強調して伝えているか？
 - マスク着用が可能な利用者にも、面会時にはマスク着用をお願いする。
 - 面会制限・面会禁止の基準を設けているか？
 - 地域での感染者発生状況など、客観的な指標を用いて、あらかじめ利用者や家族へ示しておくとう理解が得られやすい
- 利用者の動線の管理
 - 通所利用者など外部の人々と、入居利用者との動線や空間を分けているか？
 - 施設のレイアウト上、どうしても動線が重なる場合、時間をずらすなど、工夫を行う

結核予防週間 9月24日→30日

結核患者の届け出は、減少傾向ですが、欧米諸国と比較して未だ高い状況です。（米国の約4倍の罹患率）

川崎市は、全国と比較すると2019年までは結核罹患率は高かったのですが、2020年から減少しています。80歳以上の新登録結核患者が少なく、60～70歳では全国よりやや高く、30～50歳の割合が高いです。また、外国生まれの若い人の新規登録患者の割合が増加傾向です。



高齢者は咳や痰などの典型的な結核の症状が現れないことがあり、発見が遅れる傾向にあります。「よくなったり、悪くなったり」しつつ症状が進行します。 <こんな症状に注意>

- 1) なんとなく元気が活気がない
- 2) 食欲がなく、体重が徐々に低下している
- 3) 尿路感染（免疫低下）
- 4) 咳、痰、胸痛、呼吸のしづらさ

結核は早期発見 利用者さんも職員も毎年健康診断を受けましょう。

